

川西 N1K2-J 紫電改

2017.10.6 Tanzai

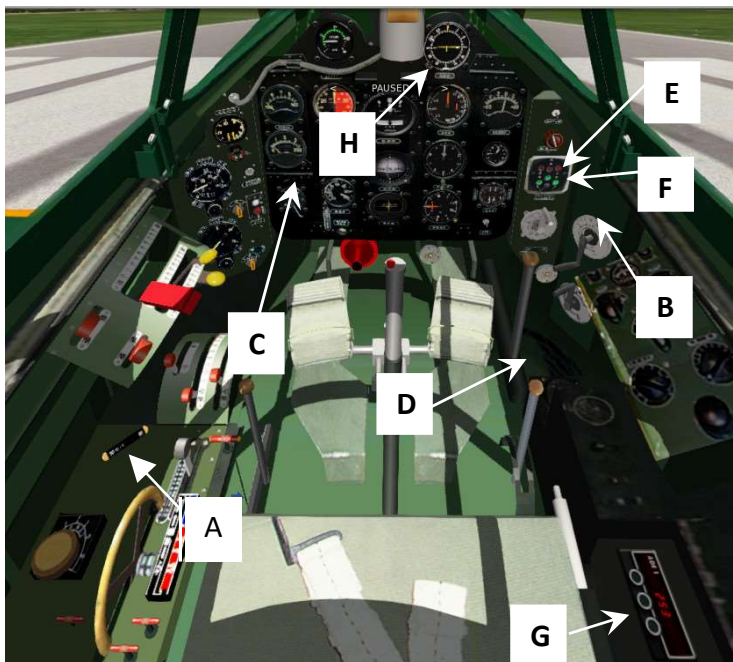
File name: N1K2-J_shidenkai

02版: 赤字部分を修正

紫電改は、1945年1月から8月にかけて運用された日本で最も優秀な局地戦闘機の一つです。

このパッケージの機体は、基本的な操縦機能（操縦桿、フットバー、スロットル、フラップ）の他に以下の機能を有します。

- 1) "Canopy toggle"をボタンに設定すれば、そのボタンで風防を開閉および胴体のステップ出し入れします。（設定 --> ジョイスティック&機器 --> ボタン：上級 --> flight controls/ --> Canopy toggle）
- 2) 右図Aの機銃発射管制レバーを引き、"Fire guns!"が設定された引き金（設定 --> ジョイスティック&機器 --> ボタン：基本 --> Fire guns!）を引けば機銃が発射します。
- 3) 右図Bのハンドル操作でカウルフラップを開閉します。
- 4) 右図Cの電路切断器を最も右（止）に回すとエンジンが停止します。通常は最も左（両）に設定します。
- 5) 空中で右図Dの脚操作レバー（又はGキー）をクリックすれば、脚位置が切り替わります。脚標示灯の赤ランプ（右図E）の点灯は脚上げを示します。脚標示灯の緑ランプ（右図F）の点灯は脚下げでロックされた事を示します。
- 6) 右図GのADF受信機（実機では帰投方位測定装置）にNDB周波数を設定すれば、ADF（右図H、実機では航路計）にその局の方向を示します。



着陸方法：

- 1) 脚出しは150ノット以下、フラップ下げ 140ノット以下とします。
- 2) 滑走路手前で速度100ノット、フラップを最大下げます。接地直前は速度85ノットで、定着点をカウリング上縁（またはやや下）に見て侵入します。降下率は3～4 m/s
- 3) 着陸後、以下の操作を素早く行い減速します。
 - 操縦桿を必ず手前いっぱい引き、尾輪を滑走路に押し当てる。
 - エンジン回転数を徐々に下げる。いきなり戻すとスリップします。
 - 機体の向きを方向舵（フットブレーキ）で調整する。

このパッケージはX-Plane 10.51(64 bit)で動作確認しています。

このパッケージは非商業目的でのみ利用/再配布できます。
このパッケージの改造物は再配布しないで下さい。



参考情報：

- 1) エアロディーテイル26 川西 極地戦闘機 {紫電改}、(株)大日本絵画
- 2) 丸メカニック No.43 雷電/紫電/紫電改、(株)潮書房
- 3) [歴史群像]太平洋戦史シリーズ Vol.24 局地戦闘機 紫電改、(株)学習研究社
- 4) イラストで見る日本陸・海軍機大図鑑、(有)モデルアート社